

# 平成23年度 十文字学園女子大学

## リカレント教育（開放授業講座）受講生募集について

### リカレント教育とは？

埼玉県が行っている、高齢者や団塊世代の方々に、県内や近隣の大学の授業科目の一部を開放し、受講者の方々の生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指している事業です。

### 1. 受講資格

県内在住で昭和31年4月1日以前生まれの女性の方

### 2. 単位等

単位は認定されません。

### 3. 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき10,000円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

### 4. 場所 十文字学園女子大学

- JR武蔵野線新座駅下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」発「清瀬駅」行きバス
- 西武池袋線「清瀬駅」発「志木駅」行きバス  
ともにオリエンタル酵母工業前下車、徒歩5分

### POINT

本学の学生が受講している授業を、学生と一緒に受講していただきます。  
また、閲覧のみですが、図書館の利用も可能です。

原則として、公共交通機関により通学してください。（自家用車による通学はご遠慮ください。）

### 5. 受講の申し込み方法（お申し込みは、女性に限ります。）

- (1) 申込期限 平成23年3月25日（金）（消印有効）
- (2) 申込先  
〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28  
十文字学園女子大学 地域連携協力推進センター
- (3) 申込方法  
往復はがきに以下の事項をもれなく記入の上、郵送でお申込みください。  
(1) 住所 (2) 氏名・ふりがな (3) 年齢（平成23年4月1日現在）  
(4) 電話番号 (5) 受講希望科目・担当教員名（何科目でも可）
- (4) 選抜方法  
定員を超える場合又は多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。  
（受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

### 6. 本学におけるリカレント教育に関するお問い合わせ

十文字学園女子大学 社会交流支援部／地域連携協力推進センター  
TEL 048(477)0579 FAX 048(477)0764

### 7. リカレント教育に関する総合的な問い合わせ先

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
埼玉県福祉部高齢介護課 政策・地域ケア担当  
TEL 048(830)3263  
FAX 048(831)1901  
埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/page/4-rikarento.html>

## 講座名・定員など

科目名	時期	曜日	時限	担当教員	定員
新座から学ぶ	前期	月	2	込江	若干名
日本の歴史	前期	金	2	橋本(克)	20名
金融論	前期	水	2	込江	若干名
女性としごと	前期	水	2	宮城	若干名
女性と食物	前期	水	2	徳野	若干名
運動と健康	前期	水	4	飯田	若干名
			5		
映像女性論 I	前期	金	2	松本	若干名
民法入門 (民法の基礎)	前期	金	4	阿部	若干名
国際協力論	前期	月	4	橋本(ヒ)	若干名
グローバリゼーションと生活	前期	月	3	橋本(ヒ)	若干名
社会福祉概論 I	前期	火	4	宮内	若干名
社会保障論 I	前期	月	3	片居木	若干名
高齢者に対する支援と介護保険制度 I	前期	火	2	安岡	20名
宝塚研究	前期	金	4	清水 加藤	20名
ミュージカル論	前期	月	4	清水	20名
産業心理学 (職場のメンタルヘルス)	前期	水	3	鵜木	若干名

※曜日、時限は3月15日現在のものです。変更になる可能性がございますのでご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月7日(木)から開始しますが、一部変則的な取扱があります。

1限 9:00~10:30、 2限 10:40~12:10、 3限 13:00~14:30、 4限 14:40~16:10

## 各授業科目の概要及び担当教官

### 新座から学ぶ (込江 雅彦准教授)

人間は、自らが生きている環境、世界と無関係に生きることはできません。そこで、自分たちが生きている環境がどのようなものであるか、いかに生きていくべきかを知ることは重要です。この授業のねらいは、知識・情報を与えたり、教えるのではなく、学生自らが興味や関心を持ったり、自ら知りたいと思う課題を、自ら探求していく力を得ることです。このねらいを実現するために、大学の所在地である新座を通して地域社会を理解します。最初の数回は、新座市役所に協力いただき、ゲスト講師を招いて新座の歴史、環境、産業などについて講義を聞き、新座について考える手がかりを得ます。その後、数名ずつのグループに分かれ、各々のグループで、関心を持ったテーマについて、調べ、討論し、作品を完成させます。中間発表を経て、最後に各グループが作成した作品をもとにプレゼンテーションを行い、相互評価を行います。

### 日本の歴史 (橋本 克己教授)

この講座は、昭和史とくに昭和の始まりから太平洋戦争の終結に至るまでの歴史を、NHKに残された映像資料を活用しながら進めます。内容は、昭和初期の庶民の暮らし、軍部によるクーデター、中国との戦争、日米交渉の推移、太平洋戦争の初戦、ガダルカナル島の戦闘、インパール作戦の実態、マリアナ沖海戦とサイパン島の玉砕、硫黄島の玉砕、沖縄の戦闘と特攻など、現在では見ることでできない貴重な映像を視聴します。また、戦後に行われた海軍首脳部による反省会の資料に基づき、戦争指導者の観点がどこにあったのかを分析します。

<b>金融論（込江雅彦准教授）</b>
お金とは何かから始めて、日銀の役割、民間の金融機関について講義します。また、サブプライムローン問題をきっかけとした世界金融危機についても詳しく解説します。銀行、証券、保険など幅広い金融の基礎知識を習得することを目指します。
<b>女性としごと（宮城道子教授）</b>
女性のライフプランにとって、「しごと」のもつ意味は大きくなっています。女性の社会進出をめぐる環境変化や就労形態の多様化をふまえ、また社会的分業としての職業や雇用労働に限定せずに、現代を生きる女性にとっての「しごと」を考えたいと思います。
<b>女性と食物（徳野裕子講師）</b>
健康な女性は社会の中で太陽的存在だと思えます。しかし、現代女性の体を取巻く環境は苛酷な状況を迎えています。そこで、自分自身の健康について現在の状況を把握し、女性が健康であることの重要性について意識し、自己コントロールすることの大切さを認識する機会であってほしいと思います。そして、女性として健康を維持するための食物とのかかわり方を歴史、環境、生活そして食材の品質や味覚といったさまざまな方面からテーマを取り上げ、体験しながら授業を進めたいと思います。調理実習を1回行います。
<b>運動と健康（飯田路佳講師）</b>
急激な変化を続ける現代文明は、私たちの暮らしに物質的な豊かさと便利さという大きな恩恵をもたらした反面、人々の心やからだに様々な弊害をもたらしています。人間がより人間らしく生きるため、生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、健康とスポーツとの関わりを生活科学として総合的に理解を深めることをねらいとします。そのためにまず「自分を知ること」を目的とし、こころの健康、からだの健康について共に考え、健康維持に役立つトータルな健康生活達成のための知識を学ぶことを基本とし、様々な視点からアプローチしていきます。
<b>映像女性論Ⅰ（松本侑壬子非常勤講師）</b>
映画を手がかりに社会と人間関係のあり方をジェンダーの視点で考えてみましょう。19世紀末の映画の誕生から1世紀余の歴史の中で、女性の登場しない映画はごく稀です。しかし、その描かれ方は時代と社会の状態によってさまざまです。スクリーン上のヒロインは長い間理想の女性イメージとして描かれ、それは時代とともに変わってきたのです。改めて「作られた女性の理想像」を見直し、時代背景との関係を考察します。前期（Ⅰ）は、映画史とからめながらスクリーンに描かれる女性像の変遷を中心に講義します。実際の作品を素材に映画をジェンダーの視点から主体的にみる基礎的な力（メディア・リテラシー）をつけることを目指します。
<b>民法入門（民法の基礎）（阿部 史講師）</b>
民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールで、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律です。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としています。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力を身につけることを目的とします。そのために、契約や不法行為を中心とした債権法を中心に民法のトピックを解説します。
<b>国際協力論（橋本ヒロ子教授）</b>
グローバル化の進展に伴い、国連など国際機関の活動が重要視されるようになりました。世界銀行からの借款により東海道新幹線の建設をした日本も、急激な経済発展をして先進国の仲間入りをし、ODAの額では世界有数の国に成長しました。しかし、近年国家財政の悪化により、ODA額は減少傾向にあり、先の事業仕分けではODAのさらなる削減命令が出てきました。 本科目では、国連、ユネスコ、ILOなど国際機関の成立の由来、活動の特徴や概要、並びに日本など先進国が開発途上国に対して行う国際協力の現状と課題について、教員の国連職員・ODA評価委員経験、JICAからの派遣講師の青年海外協力隊の経験などをも踏まえ、現状と課題を把握することを目的とします。

<b>グローバル化と生活（橋本ヒロ子教授）</b>
「グローバル化」という言葉をよく耳にするようになりました。毎日食べているもの、着ているもの、海外旅行、海外からの出稼ぎ労働者の増加、インターネット情報など、生活はグローバル化の影響を大きく受けています。この講義では、身の回りで起こっている、モノ、ヒト、カネ、情報などの「グローバル化」の実態を調べます。さらに、それによって、日本社会や国際社会がどのように変化したか、グローバル化の光と影の両面を探ってみます。
<b>社会福祉概論Ⅰ（宮内寿彦講師）</b>
今日の我が国は少子高齢社会が急速に進行しています。一方で貧困問題や無縁社会が社会問題となっています。本講義では、社会福祉の歴史の変遷・原理・思想・理論について概観し、今日的諸問題をテーマにについて検討します。 ※主なテーマ：生活保護制度、高齢者福祉と介護保険制度、ソーシャルインクルージョンと障害者自立支援法、児童虐待問題等
<b>社会保障論Ⅰ（片居木英人准教授）</b>
今、改めて社会保障の存在意義が問われています。憲法 25 条の生存権保障と公的責任の明確化は、ますますその重要度を増しています。公的部門を中心とした社会的セーフティネットの制度設計をどのように組み立てていくのか、難題が大きく横たわっています。本授業では、社会保障の理念、役割、意義、範囲等への理解を深めていく中で、負担と給付のあり方をも問い、分権型福祉国家像の構築の可能性や方向性を探っていきたいと考えています。
<b>高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ（安岡芙美子教授）</b>
我が国は平均寿命世界一となり、昔からの人類の夢であった長寿はほぼ達成されたといえましょう。しかし少子高齢化は社会全体の急速な高齢化を招き、多くのひずみが見られるようになり、長寿が必ずしも幸せにつながらない様相を呈しています。高齢化は個人になにをもたらし、また社会にはどのような影響を与えるのでしょうか。個人、社会の両面から高齢化の様相を明らかにするとともに、幸せな高齢化、高齢社会を目指すための、制度、政策を探っていきたいと思います。特に現在国民的課題である介護に焦点を当てて考えます。
<b>宝塚研究（清水玲子教授・加藤暁子准教授）</b>
本講座では、創立 95 周年以上を迎えた日本の少女歌劇である宝塚歌劇団の出発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。特に、大衆性と芸術性・娯楽性の問題や、文藝・音楽・舞踊・演劇・衣装・広告などのさまざまな特質を分析することで、宝塚歌劇の特質を理解します。本学の教員の他、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定であります。観劇もあり（希望者のみ。チケット代は別途かかります）。
<b>ミュージカル論（清水玲子教授）</b>
最近、ミュージカルに対する関心度が増し年々観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきました。本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルの魅力を探ります。オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学び、特に音楽を中心に作品を研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとします。 また、ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究し、あらゆる角度から見る目を養います。観劇もあり（希望者のみ。チケット代は別途かかります）。
<b>産業心理学（職場のメンタルヘルス）（鷗木恵子准教授）</b>
経済状況や社会構造の変化により、社会で働く人々の心の健康が損なわれることが多くなってきました。自殺率や過労死の割合も高まっています。本授業では、社会人が自らの精神的健康を保持し、向上させるための知識、方法を学びます。予防的な視点だけでなく、メンタルヘルスに不調をきたした人にどのような援助が好ましいかも取り上げます。 なお、本授業を履修した受講生のうち希望者は、学内で実施される「メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種」の団体資格試験を受検が可能です（受検料は別途かかります）。